

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●NHKマイルCはパンジャタワーが優勝

5月11日(日)に行われたNHKマイルC(G I)ではパンジャタワー(牡3歳/栗東・橋口慎介厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。

●岩田望来騎手と坂井瑠星騎手がシャーガーCに出場

8月9日(土)に英アスコット競馬場で開催される「ドバイデューティフリー シャーガーカップ」に、岩田望来騎手(栗東・フリー)と坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)が出場することとなりました。同レースは世界のトップジョッキー12名がヨーロッパ選抜、イギリス・アイルランド選抜、アジア選抜、世界選抜(各3名)に分かれて成績を競うチーム対抗戦で、岩田騎手、坂井騎手ともアジア選抜チームの一員として出場します。

●重賞ウィナー2頭の競走馬登録抹消

2023年兵庫ジュニアグランプリ(園田・JpnⅡ)の勝ち馬イーグルノワール(牡4歳/栗東・音無秀孝厩舎/JRA通算6戦2勝・地方5戦1勝)と、2022年毎日杯(GⅢ)の勝ち馬ピースオブエイト(騾6歳/栗東・奥村豊厩舎/JRA通算11戦4勝)は、1月31日(金)までに競走馬登録を抹消されました。イーグルノワールは地方・大井競馬へ移籍し、ピースオブエイトは北海道苫小牧市のノーザンホースパークで乗馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●エンプレス杯(川崎)はテンカジョウ、オーサムリザルトは初黒星

エンプレス杯(JpnⅡ、5月14日、川崎、2100m)は、5番手から追い上げた2番人気のテンカジョウ(松山弘平騎手、牝4歳、父サンダースノー)が直線半ばで先頭に立って押し切り、3度目の牝馬限定重賞制覇。単勝1.2倍という圧倒的な支持を集めたオーサムリザルトは、3番手追走も勝負どころで前が詰まり気味になったことも響いたか、ゴール前で猛追したもののアタマ差及ばず、デビュー9戦目で初黒星を喫しました。途中から先頭の3番人気アンモシエラは4馬身遅れの3着、ネバーモアは4着、大逃げを打ったアンデスピエントは早々に失速して大差の最下位11着に終わっています。

●北斗盃はJpnⅢ馬ソルジャーフィールド【各地の主要3歳重賞】

北海道三冠の第一関門、北斗盃(5月1日、門別、1600m)は、従来とは一変して2番手の積極策に出たJBC 2歳優駿の覇者ソルジャーフィールド(牡、父ルヴァンスレーヴ)がゴール寸前で逃げ馬をアタマ差捉え、単勝1.2倍の支持に応えました。ノトキリシマ賞(4月20日、金沢、1500m、牝馬)は、好発から3番手に下げた3番人気のショウガマッタナシ(父ナムラタイタン)が、3コーナー過ぎに内から先頭を奪い返して完勝。新緑賞(4月29日、笠松、1400m)は、2～3番手から4コーナーで逃げ馬を交わした9番人気(10頭立て)のゴーゴースデー(牝、父アメリカンペイトリオット)が、単勝9,800円の大波乱を演出しました。東京プリンセス賞(4月30日、大井、1800m、牝馬)は、後方から追い上げた4番人気のベルグリアス(父サンダースノー)が直線半ばで差し切り勝ち。ダイヤモンドC(5月4日、盛岡、1800m)は、1番人気のJRA 1勝馬で現在は大井に所属するシーソーゲーム(牡、父ダーハー)が2番手から直線に入って間もなく抜け出し、2着馬に4馬身差を付けています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1 仏2000ギニー～アンリマティスが優勝

現地5月11日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG 1 仏2000ギニー(3歳牡、芝1600m)は、R.ムーア騎手の手綱で中団を進んだアンリマティス(父ウートンバセット、愛A.オブライエン厩舎)が直線で内から抜け出して優勝。勝ちタイムの1分33秒91はコースレコードでした。アンリマティスは昨年5月のデビュー戦(芝1200m)を勝利で飾ると、続く6月のG 2 愛レイルウェイS(芝1200m)とG 2 愛フューチュリティS(芝1400m)も連勝。その後、G 1 ナショナルSとG 1 ジャンリュックラガルデール賞はそれぞれ2着、5着でしたが、アメリカに渡って走ったG 1 ブリーダーズCジュベナイルターフ(芝1600m)でG 1 初制覇を果たしてシーズンを終了。今年初戦となった前走3月のG 3 レバースタウン2000ギニートライアルS(芝1430m)も勝ってここに臨んでいました。

●G 1 仏1000ギニー～ザリガナが繰り上がり優勝

上記した仏2000ギニーに続いて行われたG 1 仏1000ギニー(3歳牝、芝1600m)は逃げたシーズパーフェクトが1位で入線しましたが、直線で左にヨレて他馬の走行を妨害。不利を受けながらハナ差の2位で入線していたM.バルザローナ騎手騎乗のザリガナ(父シユーニ、F.グラファール厩舎)が繰り上がりで優勝を手に入れました。勝ったザリガナは昨年9月にデビュー2連勝でG 3 オマール賞(芝1600m)を制して重賞初制覇を果たすと、シーズン最終戦となったG 1 マルセルブサック賞はハナ差の2着。今季は前走4月のG 3 グロット賞(芝1600m)で始動して、シーズパーフェクトをクビ差でかわして優勝していました。